

<英語語法マスター⑰> 形容詞の語法③

1 意味が混同しやすい形容詞

①	{ () 「よく似て」 ← () のみにしか使えない (x) alike twins () 「ありそう」 cf. () 「	
②	{ () 「生きて(いる)」 ← () のみにしか使えない (x) alive animals () 「生き生きとした」「活発な」	
③	{ () 「思いやりのある」 () 「かなりの」	④ { () 「子どもらしい」 () 「子どもっぽい」
⑤	{ () 「経済の」 ← 節約的な () 「経済的な」	⑥ { () 「お気に入りの」 () 「好都合の」
⑦	{ () 「忘れられやすい」 () 「(人が)忘れっぽい」	⑧ { () 「健康な」 () 「健康に良い」
⑨	{ () 「歴史上有名な」 () 「歴史の」	⑩ { () 「産業の」 () 「勤勉な」
⑪	{ () 「評価できないほど貴重な」 () 「価値のある」 () 「大変貴重な・値が付けられない」	{ () 「価値のない」は () = worthless
⑫	{ () 「想像できる」 () 「想像上の」 () 「想像力に富んだ」	⑬ { () 「読み書きのできる」 () 「文字通りの」 () 「文学の」
⑭	{ () 「男らしい」 () 「(女性が)男っぽい」	⑮ { () 「(人が)後悔して」 () 「(事が)残念で」
⑯	{ () 「立派な」 () 「それぞれの」 () 「礼儀正しい」	⑰ { () 「成功した」 () 「連続の」 () 「次の」
⑱	{ () 「敏感な」 () 「分別のある」	⑲ { () 「社会の/社交界の」 () 「社交的な」
⑳	() 「眠たい」 / () 「眠って」 ← () のみにしか使えない	

② It is ~ of 人 to V の構文

< It is + 形容詞 + of + 人 to V > の形で「」という意味
を表す。このパターンに使われる形容詞は以下の語!

- | | | |
|-------------|----------------|-----------------|
| ① () 「大胆な」 | / ② () 「不注意な」 | / ③ () 「利口な」 |
| ④ () 「残酷な」 | / ⑤ () 「愚かだ」 | / ⑥ () 「親切な」 |
| ⑦ () 「正直な」 | / ⑧ () 「親切な」 | / ⑨ () 「親切な」 |
| ⑩ () 「無礼な」 | / ⑪ () 「利己的な」 | / ⑫ () 「愚かだ」 |
| ⑬ () 「邪悪な」 | / ⑭ () 「賢明な」 | / ⑮ () 「まちがいた」 |

[1] 上記の形容詞は、「①に対する判断」を示す。() を主語にした文も可!

(例) It was foolish of you to make such a mistake.

→ You were foolish to make such a mistake.

「あんな誤りをするなんて君はばかだった」

⑥ この構文は () の形に書き換えは不可!

[2] この構文の () では () を省略することができる。

(例) How foolish (it was) of you to make such a mistake!

「あんな誤りをするなんて君はなんというばかだったのだろう」

[3] 上記の形容詞の中で () の形でも意味の通じるものは、

"It is ~ for ① to V" の構文でも用いられる。

(例) It would be foolish for us to make such a mistake.

「あんな誤りをするなんてばからしいことだ」

⑦ 両方の型でよく使われるものは foolish, rude, stupid, wicked, wise など

③ 「できる・できない」の形容詞

① () → () をとり、() を主語にとる。() の形をとることはない。反意語は () 受身も NG!

(例) She was able to do the job. 「彼女にはその仕事ができる」

② () → () をとり、() が文の主語になる。

↔ () () の形をとることはない。

(例) She was capable of doing the job.

③ () → () は主語にならない。← 第16構参照